

# 工事成績表

工事成績表の考査項目別運用表(別紙ー1～3)

土木・その他

(H27.4)

三好市

工事成績表の考査項目別運用表 様式一覽

評定者	考査項目	細別	様式番号	備考	評定者	考査項目	細別	品種別	様式番号	備考	品種別	様式番号	備考		
監督員	施工体制	施工体制一般	別紙1-1		検査員	施工状況	施工管理		別紙3-1						
		配置技術者	別紙1-1				出来形及び出来形	一般工事	別紙3-2						
	施工状況	施工管理	別紙1-2			出来ばえ	機械設備工事	別紙3-2-2							
		工程管理	別紙1-2				電気設備・通信設備・受変電設備工事	別紙3-2-3							
	安全対策		別紙1-3				港湾ブロック据付工事	別紙3-2-4							
		対外関係	別紙1-3			品質	コンクリート構造物工事	別紙3-3-1	鋼橋工事(堰・水門等の工場製作の鋼構造物を含む)	別紙3-3-18					
	出来形及び出来ばえ	出来形(一般工事)	別紙1-4				土工事(切土・盛土・築堤等)	別紙3-3-2	コンクリート橋の上部工事(PC・RCを対象)	別紙3-3-19					
		出来形(機械設備工事)	別紙1-4-2				護岸・根固め・水制工事	別紙3-3-3	塗装工事	別紙3-3-20					
		出来形(電気設備・通信設備・受変電設備工事)	別紙1-4-3				舗装工事	別紙3-3-4	砂防構造物・地すべり防止工事(集水井戸を含む)	別紙3-3-21					
	品質(一般工事)		別紙1-5				基礎工事(地盤改良等を含む)	別紙3-3-5	植栽工事	別紙3-3-22					
		品質(機械設備工事)	別紙1-5-2				現場打ち水路・コン2次製品水路工事	別紙3-3-6	浚渫工事	別紙3-3-23					
		品質(電気設備・通信設備・受変電設備工事)	別紙1-5-3				ブロック舗装工事(インターロッキング・タイル系舗装)	別紙3-3-7	防護柵・防護網・標識・区画線等設置工事	別紙3-3-24					
		品質(維持修繕工事)	別紙1-5-4				解体工事	別紙3-3-8	維持・清掃・除草付属物等工事	別紙3-3-25					
	創意工夫	創意工夫	別紙1-6				補強土壁工事(盛土・築堤等工事)	別紙3-3-9	修繕工事(橋脚補強・耐震補強・落橋防止等)	別紙3-3-26					
							軽量盛土工	別紙3-3-10	ぼ場整備工事	別紙3-3-27					
				法面工事	別紙3-3-11		管路工事	別紙3-3-28							
				法面工事(カーテンネット工・CCM協会用)	別紙3-3-12	ため池工事	別紙3-3-29								
				法面工事(ロックネット工)	別紙3-3-13	機械設備工事	別紙3-3-30								
				法面工事(ローネット工・CCM協会用)	別紙3-3-14	電気設備工事	別紙3-3-31								
				アンカー工事	別紙3-3-15	通信設備・受変電設備工事	別紙3-3-32								
				暗渠排水管工事	別紙3-3-16	電線共同溝工事	別紙3-3-33								
				鋼製ふとん籠工事	別紙3-3-17	下水道工事(開削・推進・シールド)	別紙3-3-34								
課長等	施工状況	工程管理	別紙2-1			港湾築造工事	別紙3-3-35								
		安全対策	別紙2-1			港湾ブロック据付工事	別紙3-3-36								
	工事特性	施工条件等への対応	別紙2-2			港湾維持修繕工事(電気・防食塗装・被覆防食工)	別紙3-3-37								
						港湾維持修繕工事(電気防食材設置工)	別紙3-3-38								
	社会性等	地域への貢献等	別紙2-3			港湾維持修繕工事(防眩材設置工事)	別紙3-3-39								
	法令遵守等		別紙2-4			海岸工事	別紙3-3-40								
					トンネル工事	別紙3-3-41									
					その他(バラツキによる評価が適切な工事)	別紙3-3-42									
					その他(バラツキによる評価が不適切な工事)	別紙3-3-43									
					出来ばえ	コン構造物・砂防構造物・海岸・トンネル工事	別紙3-4-1	鋼橋工事(堰・水門等の工場製作を含む)	別紙3-4-5						
					土工事(盛土・築堤等)		コンクリート橋工事								
					土工事(切土)		塗装工事(工場塗装を除く)								
					護岸・根固め・水制工事		地すべり防止工事								
					舗装工事		植栽工事								
					基礎工事(地盤改良等を含む)		浚渫工事								
					現場打ち水路・コン2次製品水路工事		防護柵・防護網工事	別紙3-4-6							
					ブロック舗装工事(インターロッキング・タイル系舗装)	別紙3-4-2	標識工事								
					解体工事		区画線工事								
					補強土壁工事(盛土・築堤等工事)		維持修繕工事								
					軽量盛土工		区画整理工事	別紙3-4-7							
					法面工事	別紙3-4-3	管路工事								
					法面工事(カーテンネット工)		ため池工事								
					法面工事(ロックネット工)		機械設備工事	別紙3-4-8							
					法面工事(ローネット工)		電気設備・照明設備・その他類似工事								
					アンカー工事	別紙3-4-4	通信設備・受変電設備・その他類似工事								
					暗渠排水管工事		電線共同溝工事								
					鋼製ふとん籠工事		下水道工事(開削工)	別紙3-4-9							
							下水道工事(推進工)								
							下水道工事(シールド工)								
							港湾築造工事	別紙3-4-10							
							港湾ブロック据付工事								
							港湾維持修繕工事(電気・防食塗装・被覆防食工)								
							港湾維持修繕工事(電気防食材設置工)								
							港湾維持修繕工事(防眩材設置工)								
							上記以外の工事	別紙3-4-11							

工事成績表の考査項目別運用表

考査項目		監督員				
考査項目	細別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
1. 施工体制	I. 施工体制一般	<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 「施工プロセスチェックリスト」、又は「工事施工体制チェックリスト」のうち、施工体制一般について、指示事項がない。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体制台帳・施工体系図に明確に記載している。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督員の確認を受けた上で、契約後10日以内に行われている。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 社内検査では、社内検査員(責任者・補助者)とその資格が確認でき、社内検査の時期・検査項目が、工事全般にわたりよく把握されている。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の趣旨を作業員等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、標識(シール)が貼り付けられている。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳・施工体系図が整備され、施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致している。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員・船舶・機械配置がなされ施工している。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 元請けが下請けの作業成果を検査している。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 緊急指示・災害・事故等が、発生した場合の対応が速やかである。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 現場に対する、本店や支店による支援体制を整えている。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 機械設備・電気設備について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> その他理由( )</p> <p>●判断基準                      該当項目が90%以上..... a                      該当項目が80%以上90%未満..... b                      該当項目が80%未満..... c</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 13 )-対象外項目数( )                      評価値( %) = 評価数( ) / 対象評価項目数( )                      ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>			<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員等から文書により、改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員等からの文書による、改善指示に従わなかった。
	II. 配置技術者(現場代理人等)	<p>「評価対象項目」</p> <p>【全体を評価する項目】</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 「施工プロセスチェックリスト」のうち、配置技術者について、指示事項がない。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 現場代理人が常駐し、専任主任技術者(監理技術者)が専任している。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を専任し、配置している。</p> <p>【現場代理人を評価する項目】</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事全体の把握ができています。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要対応を行っている。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 監督員への報告を適時及び適確に行っている。</p> <p>【主任(監理)技術者を評価する項目】</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、創意工夫または提案をもって工事を進めている。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 契約書・設計図書・適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境・気象・地質等)への対応を図っている。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 下請けの施工体制・施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者が、明確な根拠に基づいて、技術的な判断を行っている。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> その他理由( )</p> <p>●判断基準                      該当項目が90%以上..... a                      該当項目が80%以上90%未満..... b                      該当項目が80%未満..... c</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 13 )-対象外項目数( )                      評価値( %) = 評価数( ) / 対象評価項目数( )                      ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>			<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員等から文書により、改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員等からの文書による、改善指示に従わなかった。

工事成績表の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別					
		a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 「施工プロセスチェックリスト」のうち施工管理について、指示事項がない。 2 <input type="checkbox"/> 契約約款第16条第1項第1号から4号に係わる、設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工がなされている。 3 <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 4 <input type="checkbox"/> 施工計画書が設計図書および現場条件を、反映したもとなっている。 5 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化に応じて、適切に対応している。 6 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響がないように保管している。 7 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書および施工計画書に基づき、適時および的確に行っている。 8 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書および施工計画書に基づき、適時および的確に行っている。 9 <input type="checkbox"/> 現場内の整理・整頓を日常的に行い、資機材の保管が適切に行われている。 10 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質証明書および写真等を整理している。 11 <input type="checkbox"/> 段階確認の時期が適切に行われ、立会確認の手続きが事前になされている。 12 <input type="checkbox"/> 工事打ち合わせ簿を不足なく整理している。 13 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 14 <input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型・低振動型・排出ガス対策型の建設機械・車両を使用している。 15 <input type="checkbox"/> その他理由( )			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員等から文書により、改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員等からの文書による、改善指示に従わなかった。
		●判断基準 該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が80%未満..... c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 15 )-対象外項目数( ) 評価値(%)=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。				
	II. 工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 「施工プロセスチェックリスト」のうち、工程管理について、指示事項がない。 2 <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 3 <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成およびフォローアップを行っており、適切に工程を管理し、工程履行報告が適性に行われている。 4 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞がみられない。 5 <input type="checkbox"/> 時間制限や片側通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れがない。 6 <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 7 <input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れがない。 8 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 9 <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんどない。 10 <input type="checkbox"/> その他理由( )			<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員等から文書により、改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員等からの文書による、改善指示に従わなかった。
		●判断基準 該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が80%未満..... c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 10 )-対象外項目数( ) 評価値(%)=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。				

工事成績表の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	監督員				
		a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 「施工プロセスチェックリスト」のうち安全対策について、指示事項がない。 2 <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者には正報告をしている。 3 <input type="checkbox"/> 安全教育・安全訓練等を、半日/月以上実施している。 4 <input type="checkbox"/> 安全巡視・TBM(ツールボックスミーティング)、KY(危険予知活動)等を実施している。 5 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を十分に反映している。 6 <input type="checkbox"/> 工期を通じて、労働災害および公衆災害が発生しなかった。 7 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 8 <input type="checkbox"/> 使用機械・車両等の点検整備等がなされ、管理されている。 9 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や、重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 10 <input type="checkbox"/> 山留・仮締切等の、点検および管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 11 <input type="checkbox"/> 足場や支保工の組み立て完了時や、使用中の点検および管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 12 <input type="checkbox"/> 保安施設等の設置及び管理を、管理基準および関係者の協議に基づき実施している。 13 <input type="checkbox"/> 地下埋設物および架空線等に関する、事故防止対策に取り組んでいる。 14 <input type="checkbox"/> トラック(クレーン装置付)において、上空施設への接触事故防止装置付きの車両を使用している。 15 <input type="checkbox"/> その他理由( )			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員等から文書により、改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員等からの文書による、改善指示に従わなかった。
		●判断基準 該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が80%未満..... c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 15 )-対象外項目数( ) 評価値( %)=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。				
Ⅳ. 対外関係		a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 「施工プロセスチェックリスト」のうち、対外関係について、指示事項がない。 2 <input type="checkbox"/> 関係官公庁等と調整を行い、トラブルの発生がない。 3 <input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生がない。 4 <input type="checkbox"/> 第3者からの苦情がない。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 5 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 6 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより、地域住民や通行者等にわかりやすく周知している。 7 <input type="checkbox"/> 現場でのイメージアップに取り組んでいる。 8 <input type="checkbox"/> その他理由( )			<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員等から文書により、改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員等からの文書による、改善指示に従わなかった。
		●判断基準 該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が80%未満..... c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 8 )-対象外項目数( ) 評価値( %)=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。				

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の 概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の 概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a および b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示、または修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、契約約款第15条に基づき、監督員等が改造請求を行った。
<p>* ばらつきの判断は別図参照</p> <p>① 出来形の評定は、工事全般を通したものとする。                      ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。                      ③ 出来形管理とは、「徳島県土木工事施工管理基準」の測定項目・測定基準及び規格値に基づく、形状寸法を確保する管理体系である。                      ④ 出来形管理項目を設定していない工事は、「c」評価とする。                      ⑤ ばらつきの考え方は別図参照。</p>					

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレ マークを記入する。

監督員

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示、または修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、契約約款第15条に基づき、監督員等が改造請求を行った。
I. 出来形		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 据え付けに関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状および寸法の実測値が許容範囲内である。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が、撮影基準を満足している。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議のうえで管理している。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が、写真で確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が、適切にまとめられている。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が、適切にまとめられている。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足がない。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の磨耗・損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況を、図表等に記録している。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他 理由( )</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 11 )-対象外項目数( )                  評価値( %) = 評価数( ) / 対象評価項目数( )                  ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>該当項目が90%以上..... a                  該当項目が80%以上90%未満..... b                  該当項目が80%未満..... c</p>				





工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a および b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示、または修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質の測定方法または測定値が不適切であったため、契約約款第15条に基づき、監督員等が改造請求を行った。
<p>① 品質の評定は、工事全般を通したものとする。                      ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。                      ③ 品質管理とは、「徳島県土木工事施工管理基準」の試験項目・試験基準及び規格値に基づく、すべての段階における品質確保のための管理体系である。                      ④ 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、別紙3-3-1～41の評価対象項目により評価する。                      ⑤ ばらつきの考え方は別図参照。</p>					

工事成績表の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示、または修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質の測定方法または測定値が不適切であったため、契約約款第15条に基づき、監督員等が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の書類(現物照合)を整理している。 2 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保されている。 3 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。 4 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係る成績書が整理されている。 5 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理している。 6 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理している。 7 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり設置され、操作性に優れている。 8 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理している。 9 <input type="checkbox"/> 小配管・電気配線・配管が承諾図書の通り敷設している。 10 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫している。 11 <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に、部品等の交換方法についてが、まとめられている。 12 <input type="checkbox"/> 機器の配置を、点検しやすいように工夫している。 13 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置を、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるように、工夫している。 14 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめている。 15 <input type="checkbox"/> バブル類の平時の状態を示すラベルなどを、見やすい状態で表示している。 16 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を、見やすく表示している。 17 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険個所に、表示または防護をしている。 18 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施している。 19 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘察し、施工方法等について、適切な対策を施している。 20 <input type="checkbox"/> その他。 理由( )				
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 20 )-対象外項目数( ) 評価値( %) = 評価数( ) / 対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。				
		該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が80%未満..... c				

工事成績表の考査項目別運用表

監督員

【記入方法】 該当する項目の□にレ マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員等が 文書で改善指示、または修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質の測定方法または測定値が不適切であったため、契約約款第15条に基づき、監督員等が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。 2 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 3 <input type="checkbox"/> 機器の品質・機能及び性能が、設計図書を満足して、成績書にまとめられている。 4 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が、承諾図書のとうり配置され、操作性に優れている。 5 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書の手順に沿って行われ、不具合がない。 6 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足している。 7 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動に不具合がない。 8 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。 9 <input type="checkbox"/> 現場条件によって、機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 10 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を、工夫し作成(修繕(改造・更新を含む)の場合は、修正または更新)している。 11 <input type="checkbox"/> 完成図書で、定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。 12 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取り換え作業が、容易にできるように工夫している。 13 <input type="checkbox"/> その他理由( )				
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 13 )-対象外項目数( ) 評価値( %) = 評価数( ) / 対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。				
		該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が80%未満..... c				

工事成績表の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	維持修繕工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示、または修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質の測定方法または測定値が不適切であったため、契約約款第15条に基づき、監督員等が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。 2 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速に対応している。 3 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 4 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を、勘案した提案等を行っている。 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/>				
		注) 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して、評価するものとする。 ただし、評価対象項目は、最大8項目とする。				
		該当項目が6項目以上…… a 該当項目が4～5項目…… b 該当項目が3項目以下…… c				

工事成績表の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別		
5. 創意工夫	I. 創意工夫	<p>■ 施工</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫、または設備据付後の試運転調整の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 2. コンクリート2次製品の利用等の代替材の適用と工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 土工・地盤改良・橋梁架設・舗装・コンクリート打設等の施工関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 設備工事で加工・組立等の工夫、または電気工事の配線・配管等での工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 照明・視界確保等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 仮排水・仮道路・迂回路等の計画施工の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 運搬車両・施工機械等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 支保工・型枠工・足場工及び仮栈橋・覆工板・山留め等の仮設工関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 施工計画書の作成、写真管理等に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 出来形・品質の計測関係等の工夫、及び集計・管理図等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 施工管理ソフト・土量管理システム等の活用に関する工夫</p> <p>■ 品質</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 土工関係・設備関係・電気関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 15. コンクリートの打設関係の工夫(材料・打設・養生・出来高・品質等)</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 鉄筋・PCケーブル・コンクリート2次製品等の使用材料の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 配筋・溶接作業等に関する工夫</p> <p>■ 安全衛生関係</p> <p><input type="checkbox"/> 18. 建設業労働災害防止協会が定める指針にもとずく、安全衛生教育を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 19. 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物・墜落・転落・挟まれ・看板・立入禁止柵・手摺り・足場等)</p> <p><input type="checkbox"/> 20. 安全教育、技術向上講習会等、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 21. 現場事務所、労働者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 22. 有毒ガス・可燃ガスの処理、及び粉じん防止策や作業中の換気等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 23. 一般車両突入時の被害軽減対策、又は一般交通の安全確保に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 24. 厳しい作業環境の改善に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 25. 環境保全に関する工夫。</p>	<p>■ その他</p> <p><input type="checkbox"/> その他1</p> <p><input type="checkbox"/> その他2</p> <p><input type="checkbox"/> その他3</p> <p><input type="checkbox"/> その他4</p> <p><input type="checkbox"/> その他5</p> <p><input type="checkbox"/> その他6</p> <p><input type="checkbox"/> その他7</p>
	記述評価	<p>評点: _____ 点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に評価すべき工夫事例を評価する。</li> <li>・ 加点は+7点~0点の範囲とする。</li> <li>・ 該当キーワード数の数と重みを勘案して評価する。</li> <li>・ 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えても良い。</li> </ul>	〔創意工夫の詳細評価〕

\* 1. 上記の考査項目のほかに評価する企業の工夫等があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。なお、課長等が評価する「工事特性」との二重評価はしない。  
 \* 2. 入札時の総合評価の提案に係る項目は評価しない。

## 工事成績表の審査項目別運用表

課長等

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	工程管理が非常に優れている	工程管理がやや優れている	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		<input type="checkbox"/> 社会的に影響の大きい災害復旧工事、及び施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕を持って工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> 地元調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 代休等を確保するなどの、適切な人員管理と工程管理が、地域住民に好印象を与えている。 <input type="checkbox"/> 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢がみられた。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )  * 上記該当項目を総合的に判断して、a・b・c・d・e 評価を行う。				
	Ⅲ. 安全対策	安全対策が非常に優れている	安全対策がやや優れている	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
		<input type="checkbox"/> 建設労働災害・公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が活発で、他の模範となっている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 安全職場実現への取り組みが、地域全体から評価されている。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )  * 上記該当項目を総合的に判断して、a・b・c・d・e 評価を行う。				

工事成績表の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマーク、・に○を記入する。

課長等

審査項目	細別	対応事項	[事例] 具体的な施工条件等への対応事項
4. 工事特性	1. 施工条件等への対応	<p>I 構造物の特殊性への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ・延長・施工(断)面積・施工深度等の規模が特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 3. その他(理由: )</p> <p>* 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば、4点の加点とする。</p> <p>II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件・工程等に大きな影響を受ける工事</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 緊急時に対応が特に必要な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事</p> <p><input type="checkbox"/> 10. その他(理由: )</p>	<p>・ 土工 切土の土工量が20万m<sup>3</sup>以上、または盛土の土工量が15万m<sup>3</sup>以上</p> <p>・ 河川 護岸または築堤の平均高さが10m以上</p> <p>・ トンネル トンネル(シールド)の直径8m以上の断面、トンネル(開削工法)の開削深さ20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積100m<sup>2</sup>以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積300m<sup>2</sup>以上</p> <p>・ ダム ダム用水門で設計水深25m以上、ダム堤高150m以上、転流トンネルの流下能力400m<sup>3</sup>/s以上</p> <p>・ 樋門等 樋門または樋管の内空断面積が15m<sup>2</sup>以上、揚排水機場の吐出し管径2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長25m以上、堰又は水門の径間数3径間以上、堰又は水門の扉体面積50m<sup>2</sup>/1門以上</p> <p>・ 海岸 海岸堤防、護岸、突堤または離岸堤の水深が10m以上</p> <p>・ 浚渫 浚渫土量が100万m<sup>3</sup>以上</p> <p>・ 砂防等 地すべり防止工で、幅100m以上かつ法長150m以上 流路工の計画高水流量500m<sup>3</sup>/s、砂防ダムの堤高15m以上</p> <p>・ 橋梁 橋梁下部工の高さ30m以上、橋梁上部工の最大支間長100m以上</p> <p>・ 砂防工事等において、現地あわせに基づいて再設計が必要な工事</p> <p>・ 鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事、または河道内の流水部における橋脚の撤去工事</p> <p>・ 供用中の道路トンネルの拡幅工事</p> <p>・ その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事</p> <p>・ その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事</p> <p>・ 地山強度が低い、または土被りが薄いため、FEM解析等による検討が必要な工事</p> <p>・ 供用中の鉄道又は道路と交差する、橋梁などの工事</p> <p>・ 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事</p> <p>・ 監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事</p> <p>・ ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事</p> <p>・ 地元調整や環境対策の制約が、特に多い工事</p> <p>・ そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事</p> <p>・ 市街地での夜間工事</p> <p>・ DID地区での工事</p> <p>・ 日交通量が概ね1万台以上の道路で、片側交互通行の交通規制をした工事</p> <p>・ 供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事</p> <p>・ 工事期間中の大半にわたって、交通解放を行うため、規制標識類の設置・撤去を日々行った工事</p> <p>・ 緊急時の作業があり、その作業すべてに対応した工事</p> <p>・ 作業現場が広範囲に分布している工事</p> <p>・ 施工ヤードに広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他、周辺環境または社会条件への対応が、特に必要な工事</li> </ul>
	* 上記の対応事項に1つ以上レ 点が付けば、6点の加点とする	
III	厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応等が必要な工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備のほか、大規模な山留工法が必要な工事</li> <li>・ 支持地盤の形状が複雑な為、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど、支持地盤を確認しながら再設計した工事</li> <li>・ 施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを、的確に把握する必要が生じた工事</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海岸または河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事</li> <li>・ 潜水夫を多用した工事、または波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事 または命綱を使用する必要があった工事(法面工事は除く)</li> <li>・ 斜面上または急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地すべり防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事</li> <li>・ 土石流危険渓流に指定された区域内における工事、またはこれに類似する渓流内の工事</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に、特に配慮しなければならない工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> 15. その他(理由: )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他、自然条件または地盤条件への対応が必要であった工事</li> <li>・ そのた、災害等における臨機の措置のうち、特に評価すべき事項が認められる工事</li> </ul>
	* 上記対応事項に1つ以上レ 点が付けば、4点の加点とする	
IV	長期工事における安全確保への対応 <input type="checkbox"/> 16. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事 (全面一時中止期間は除く) (文書注意にもならない事故は除く)	
	<input type="checkbox"/> 17. その他(理由: )	
	* 上記の対応事項に1つ以上レ 点が付けば、6点の加点とする	
技術評価	評点: _____ 点	[高度技術のキーワードの詳細]

- \* 1. 工事特性は、最大20点の加点とする。
- \* 2. 監督員が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。
- \* 3. 評価にあたっては、監督員の意見も参考に評価する。





工事成績表の考査項目別運用表

課長等

[記入方法] 該当する項目の□にレ マークを記入する。

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表		
7. 法令遵守等	措置内容	点数	
	<input type="checkbox"/> 1. 入札参加資格停止6ヶ月以上	-20点	<input type="checkbox"/> 該当項目なし
	<input type="checkbox"/> 2. 入札参加資格停止4ヶ月以上6ヶ月未満	-15点	
	<input type="checkbox"/> 3. 入札参加資格停止2ヶ月以上4ヶ月未満	-13点	
	<input type="checkbox"/> 4. 入札参加資格停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-10点	
	<input type="checkbox"/> 5. 入札参加資格制限または指名不選定	-8点	
	<input type="checkbox"/> 6. 文書注意、または文書による改善命令	-5点	
	<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、 文書注意以上の処分がなかった場合。 (不問で処分した案件。 もらい事故や交通事故は含まない。)	-3点	
	<input type="checkbox"/> 8. その他 理由( )	点	
	<p>① 本評価項目(7. 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名・工期・施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人・監理技術者・主任技術者・社内検査員・請負会社の現場従事職員、及び②を履行するために下請け契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p> <p>④ 総合評価落札方式における技術提案等(技術提案及び簡易な施工計画)の履行が確認できない場合は、「8. その他」の項目で減ずる措置を行う。</p> <p>[上記で評価する場合の適用事例]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入札前に提出した調査資料等が、虚偽であった事実が判明した。</li> <li>2. 承諾なしに権利義務等を第三者に譲渡、または承継を行った。</li> <li>3. 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。</li> <li>4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄・砂利採取法に違反する無許可採取等、関連法令に違反する事実が判明した。</li> <li>5. 当該工事関係者が、贈収賄等により逮捕または公訴された。</li> <li>6. 建設業法に違反する事実が判明した。(一括下請け・技術者の専任違反等)</li> <li>7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。</li> <li>8. 使用人等の就労に関する労働基本法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li>9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ妨害した。</li> <li>10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを、期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。</li> <li>11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検された。</li> <li>12. 受注企業の社員に、「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員・準構成員・企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li>13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利・砂・防音シート・軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li>14. 安全管理の処置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。</li> </ol>		

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 三好市公共工事標準請負契約約款第16条第1項第1号から4号に基づく設計図書の照査を行い、施工をしていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を、反映したものとなっていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響がないよう、工事材料を保管していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを、事前に行っていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを、行っていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を、適確に整備していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 下請けに対する引取り(完成)検査を、書面で実施していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 社内検査体制が確立され、有効に機能している。 10 <input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が、書面で確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく、簡潔に整理していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき、管理していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> その他 理由( )			<input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員等が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員等からの文書による改善指示に従わなかった。	
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 13 )-対象外項目数( ) 評価値( %)=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。					
		●判断基準 該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が80%未満..... c					

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が必要な測定項目について、所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	出来形がやや不適切である。	出来形が不適切である。
<p>「評価対象項目」</p> <input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準等の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由( )						<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査規程第8条に基づき検査員等が、文書で修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば... e	
<p>① 出来形の評定は、工事全般を通したものとする。                      ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。                      ③ 出来形管理とは、「徳島県土木工事施工管理基準」の測定項目・測定基準及び規格値に基づく、形状寸法を確保する管理体系である。                      ④ ばらつきの考え方は別図参照。</p>							

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
I. 出来形		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足がないことが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗・損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況を、図表等に記録していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他理由( )</p>					<p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査規程第8条に基づき検査員等が文書で修補指示を行った。</p> <p>上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。</p> <p>上記項目該当があれば…………… e</p>	
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 対象評価項目数( )=全項目数( 11 )-対象外項目数( ) 評価値( %) = 評価数( ) / 対象評価項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>						
		<p>●判断基準</p> <p>該当項目が90%以上…………… a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満…………… a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満…………… b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満…………… b'</p> <p>該当項目が60%未満…………… c</p>						

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事 照明設備工事 その他類似工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
I. 出来形		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 写真管理基準等の管理項目を満足している。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が、写真で確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が、許容範囲内であることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 設備の据付・固定方法を、設計図書又は承諾書のとおり施工していることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 配管及び配線を、設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 行き先などを表示した名札を、ケーブルなどにわかりやすく堅固に取り付けている。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> その他 理由( )</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 対象評価項目数( )=全項目数( 12 )-対象外項目数( ) 評価値( %) = 評価数( ) / 対象評価項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準                  該当項目が90%以上..... a                  該当項目が80%以上90%未満..... a'                  該当項目が70%以上80%未満..... b                  該当項目が60%以上70%未満..... b'                  該当項目が60%未満..... c</p>					<p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査規程第8条に基づき検査員等が文書で修補指示を行った。</p> <p>上記1項目該当..... d 2項目該当..... e</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。</p> <p>上記項目該当があれば..... e</p>	

工事成績表の審査項目別運用表

検査員

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	港湾ブロック据付工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
I. 出来形		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 凹凸がないことが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 幅・勾配が、定規等の範囲に、概ね入っていることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 天端が、計画高さから、ブロックの高さの概ね1/3以内である、ことが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 据付個数の確認が、写真等で確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他 理由( )</p>					<p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査規程第8条に基づき検査員等が文書で修補指示を行った。</p> <p>上記1項目該当..... d 2項目該当..... e</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。</p> <p>上記項目該当があれば..... e</p>	
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 対象評価項目数( )=全項目数( 6 )-対象外項目数( ) 評価値( %) = 評価数( ) / 対象評価項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>						
		<p>●判断基準</p> <p>該当項目が90%以上..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が60%未満..... c</p>						

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート 構造物 工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量・単位水量・アルカリ骨材反応等)が確認できる。 2 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ・締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 5 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に、型枠・支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> コンクリート打設前に、打ち継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 8 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までに、さび・泥・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう、管理していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認をおこなっていることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> スーパーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 14 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		進行性または有害なクラックがある場合で、無処理の場合は状況に応じて、d 又は e とする。  ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 14 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。  ●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			



工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	土工事  (切土・盛土 築堤等工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 締固めが、設計図書に定められた条件を、満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 1層当たりのまきだし厚さを管理していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 筋芝または種子吹き付けを、設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを、設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が、設計図書を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> CBR試験などの、品質管理に必要な管理を行っていることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。 11 <input type="checkbox"/> 伐除除根作業が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 12 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	護岸・根固め・水制工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
「評価対象項目」		1 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 裏込め材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック・石積み(張り)・法枠・かごマット等で、材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込め材の吸い出しの恐れがない。 4 <input type="checkbox"/> 石積み(張り)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わされ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類・品質・配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 根固め工・水制工・沈床工・捨て石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘りすぎがなく施工していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を、損傷なく設置していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 施工にあたって床掘箇所の湧き水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> 埋め戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 15 <input type="checkbox"/> 搬入された矢板は、所要の規格を満足していることが確認できる。 16 <input type="checkbox"/> 打ち込み方法及び打ち込み精度が、適切であることが確認できる。 17 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改書請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 17 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																		
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																												
		「評価対象項目」 <b>【路床・路盤工関係】</b> 1 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法で、CBR試験を測定していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工のブルフローリングを行っていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は、材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面・下層路盤の浮石及び有害物を除去していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 路床盛り土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締め固め施工していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 路床盛り土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締め固めを、タンバ等の小型締め固め機械により施工していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> その他 理由( )																																		
		<b>【アスファルト舗装工関係】</b> 9 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は「徳島県土木工事用生アスファルト合材の品質審査要綱」の証明書類により確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先立って、上層路盤の浮石および有害物を除去していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> プラント出荷時・現場到着時・舗設時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通解放が、定められた条件を満足していることを確認できる。 13 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置を、設計図書または仕様書に定められた数値以上に、ずらしていることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> 縦継ぎ目及び横継ぎ目の位置・構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 16 <input type="checkbox"/> 密度管理が、設計図書の仕様を満足していることを確認できる。 17 <input type="checkbox"/> 乳剤(プライムコート・タックコート)の塗布量が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 18 <input type="checkbox"/> その他 理由( )																																		
		<b>【コンクリート舗装関係】</b> 19 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量・単位水量・アルカリ骨材反応等)が確認できる。 20 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先立って、上層路盤の浮石および有害物を除去していることが確認できる。 21 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 22 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 23 <input type="checkbox"/> 運搬時間・打設方法・養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 24 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないよう、コンクリートを敷き均していることが確認できる。 25 <input type="checkbox"/> チェアー・タイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 26 <input type="checkbox"/> その他 理由( )																																		
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 26 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																		
		<b>●判断基準</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c																																
	60%未満	b'	c	c																																
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																		
		測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e  測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば... e																																		

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	基礎工工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																						
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																																
		「評価対象項目」 <b>【杭関係(コンクリート、鋼管、鋼管井筒、場所打ち杭、深礎等)】</b> 1 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 既製杭の打ち止め管理の方法、及び場所打ち杭の施工管理の方法が整備され、その記録を整理していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 水平度・鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ・掘削土砂等により確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 場所打ち杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上入れて、施工していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 掘削深度・排出土砂・孔内水位の変動・及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度・比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 配筋・スペーサーの配置・及びコンクリートの打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 裏込め材注入の圧力等が、施工記録により確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 強度確認・セメントミルクの比重管理などの、品質に係わる事項の管理資料を、整理していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> その他 理由( )																																						
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。 上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。 上記項目該当があれば… e																																						
		<b>【地盤改良関係】</b> 14 <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整備され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重・スラリー噴出量・強度等の管理資料を、整理していることが確認できる。 16 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定・必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 17 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されていると共に、充分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 18 <input type="checkbox"/> その他 理由( )																																						
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 18 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																						
		<b>●判断基準</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
	50%以下	80%以下	80%を超える																																					
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																						

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	現場打ち用水路及び コンクリート二次製品水路工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																		
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																												
		<p>「評価対象項目」</p> <p><b>【現場打ち用水路】</b></p> <p>1 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 埋戻しは指定された厚さに敷きならした後、コンパクター等で十分締め固められていることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 基礎の施工にあたって、常に良好な排水状態を維持していることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> コンクリート表面が平滑に仕上げられており、気泡による穴がないことが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> アンダードレイン及びウィープホールが、適正に取り付けられていることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 止水版・伸縮目地・ダウエルバーが、適正に設置されていることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他理由( )</p> <p><b>【コンクリート二次製品、排水柵渠】</b></p> <p>8 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 埋戻しは指定された厚さに敷きならした後、コンパクター等で十分締め固められていることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 基礎の施工にあたって、常に良好な排水状態を維持していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> H鋼や二次製品に、損傷がみられないことが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 水路の継ぎ目が、設計図書等の仕様に基づき、適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 水路底の高さが、受台や基礎により調整され、平滑に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 材料の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 二次製品の保管、吊り込み等に十分注意を払っていることが確認できる。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> その他理由( )</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 16 )-対象外項目数( )                  評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )                  ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。</p> <p>上記1項目該当..... d 2項目該当..... e</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。</p> <p>上記項目該当があれば・・e</p>																																		

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	ブロック舗装工事 (インターロッキング・タイル系舗装)	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 路盤層はコンパクター等で十分に締め固められ、平坦に仕上げられていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 基礎の施工にあたっては、常に良好な排水状態を維持していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> クッション材は必要な厚さで敷均し、転圧して所定の高さに仕上げられていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> ブロック敷設完了後、ブロック層の転圧が適切に行われていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 目地の通りが確保され、ブロック表面まで目地材が目地詰めが、均一に充分充填されていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 端部にはカットブロックやエンドブロックを使用し、適切に施工されていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> ブロックに損傷がみられない。 8 <input type="checkbox"/> クッション材および目地材の規格が証明書類で確認できる。 9 <input type="checkbox"/> ブロックの規格が証明書類で確認できる。 10 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 10 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。  ●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	解体工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。							
II. 品質		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分記録の内容が、適切であることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 各施工段階ごとの施工状況が、施工計画書等に基づき適切であることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 整地等における施工の品質が、良好であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 各施工段階ごとに、施工品質確認のための工事写真・施工記録等が、整備されていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 解体施工等において、品質確保のための工夫をしていることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査で、工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他 理由( )</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 7 )-対象外項目数( )                  評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )                  ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準                  該当項目が90%以上..... a                  該当項目が80%以上90%未満..... a'                  該当項目が70%以上80%未満..... b                  該当項目が60%以上70%未満..... b'                  該当項目が60%未満..... c</p>							
							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。		
							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e		
							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば...e		

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	補強土壁工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土工工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
「評価対象項目」		1 <input type="checkbox"/> 施工基面の整正は人力のより施工され、重機等による乱れがないことが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 補強土工に使用する締め機械が、適切であることが確認できる。 (壁面から1m以内及び隅角部は、タンバーまたは小型振動ローラーで締め固めているか) 3 <input type="checkbox"/> 基礎底面は、水平または表面排水に必要な勾配が、確保されていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 湧水がある場合は、排水対策が講じられていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 盛土材が設計図書を満足していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 盛土材料のまき出し・敷均しは、壁面工側から順次、奥側に施工されていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 盛土に先行して組み立てられる壁面工が、2段までとされていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 補強材敷設において、必要なラップ長が確保されていることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 盛土1層当たりの仕上がり厚が、30cm以下かつユニット高の半分で施工されていることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e																														
							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																														
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 10 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )÷対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			



工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	軽量盛土工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
「評価対象項目」		1 <input type="checkbox"/> 盛土材(EPS・FCB)・アンカー等の品質が、証明書等で確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 盛土材(EPS・FCB)・アンカー等の、施工管理状況の良さが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 盛土材(EPS・FCB)の、設置状況及び打設状況の良さが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 材料の保管状況の良さが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> パネルの間詰め状況の良さが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 遮水シート・防水シートで、所定の重ね合わせ・端部処理が、設計図書の仕様を満足していることを確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用した供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> エアーモルタルの試験練りが行われており、モルタルの品質が確認できる。 9 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		□ 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  □ 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  □ 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 9 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

工事成績表の考査項目別運用表

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	検査員																																		
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																									
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																																			
		「評価対象項目」 【共通】 1 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。(特に法枠工、コンクリートまたはモルタル吹き付け工関係。) 2 <input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮石やゴミ等を除去してから、施工していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 盛り土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう、締固めを十分おこなっていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊がおこらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> その他理由( ) 【種子吹き付け工、客土吹き付け工、植生基材吹き付け工関係】 6 <input type="checkbox"/> 土壌試験を実施し、施工に反映していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> ネット等の境界に、隙間が生じていないことが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> ネット等が破損を生じていないことが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 吹き付け厚さが均等であることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類・品質・配合等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 施工時期が、定められた条件を満足していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> その他理由( ) 【コンクリートまたはモルタル吹き付け工関係】 13 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類・品質・配合等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> 金網等の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 16 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹き付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 17 <input type="checkbox"/> 吹き付け厚さが均等であることが確認できる。 18 <input type="checkbox"/> 吹き付け厚さに応じて、2層以上に分割して施工していることが確認できる。 19 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 20 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう、跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 21 <input type="checkbox"/> 法肩の吹き付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 22 <input type="checkbox"/> その他理由( ) 【現場打ち法枠工関係(プレキャスト法枠工を含む)】 23 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類・品質・配合等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 24 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで、施工していることが確認できる。 25 <input type="checkbox"/> 現場養生が設計図書の仕様を満足するよう、実施されていることが確認できる。 26 <input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 27 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 28 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。 29 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう、跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 30 <input type="checkbox"/> その他理由( )								<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば...e																																	
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 30 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																									
		●判断基準																																									
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>75%以上90%未満</th> <th>60%以上75%未満</th> <th>60%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能	90%以上	75%以上90%未満	60%以上75%未満	60%未満		a	a'	b	b'	b		a	a'	b	b'	b'		b	b'	c	c	c		b'	c	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																																						
	90%以上	75%以上90%未満	60%以上75%未満	60%未満																																							
	a	a'	b	b'	b																																						
	a	a'	b	b'	b'																																						
	b	b'	c	c	c																																						
	b'	c	c	c	c																																						
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																									

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																			
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	法面工事 (カーテンネット工・CCM協会用)	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																									
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																																			
「評価対象項目」		1 <input type="checkbox"/> 縦・横ロープの通りがよく、金網に関しても緩み・たるみ等がないことが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 使用部材の仕様・耐力・規格寸法は、技術仕様・仕様書・強度計算等を満足していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 法面勾配・地質状況等を考慮し、アンカー(岩盤用・土砂部用)が基準通りに施工され、かつアンカー方向が適切であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 地形的にカーテンネット工の能力が落ちる場合は、補助工法を併用し、設計図書を満足した施工がなされていることを確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 支柱の設置位置・支柱長さ・建込み角度が適正で、落石を受ける開口部が十分に確保され、施工されていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 支柱設置位置の地質により、岩盤用・土砂部用の使い分けが、設計図書の仕様を満足していることを確認できる。 7 <input type="checkbox"/> アンカーの品質確認検査が、適切に行われていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> ロープの間隔・金網の重ねしろが、設計図書の仕様を満足していることを確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 使用材料の設置までの保管管理が、適切であることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																									
<b>アンカーの品質確認検査</b> 岩盤部用アンカー 最上段横・吊りロープ用アンカー ..... 耐力確認(引き抜き)試験：施工本数の25% 支柱用アンカー ..... 耐力確認(引き抜き)試験：施工本数の50% 横・支柱サイド控えロープ用アンカー ..... 耐力確認(引き抜き)試験：施工本数の20% 土砂部用アンカー 最上段横・吊りロープ用エファールアンカー ..... 付着力確認試験：供試体1群当たり1本 横・支柱サイド控えロープ用エファールアンカー ..... 耐力確認試験(横方向引張試験)：1本 * (引張試験が困難な場合は、供試体アンカーで確認試験を行う)		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば...e																																									
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 10 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																											
●判断基準		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th colspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能		50%以下	80%以下	80%を超える			90%以上	a	a'	b	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	c	60%未満	b'	c	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
	50%以下	80%以下	80%を超える																																								
90%以上	a	a'	b	b	b																																						
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	b'																																						
60%以上75%未満	b	b'	c	c	c																																						
60%未満	b'	c	c	c	c																																						
注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																											

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	法面工事 (ロックネット工)	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																		
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																												
「評価対象項目」		<p><b>【共通】</b></p> <p>1 <input type="checkbox"/> 縦・横ロープの通りがよく、金網に関しても緩み・たるみ等がないことが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 使用部材の仕様・耐力・規格寸法は、技術資料・仕様書・強度計算等を満足していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 法面勾配・地質状況等を考慮し、アンカー(岩盤用・土砂部用)が基準通りに施工され、かつアンカー方向が適切であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> アンカーの品質確認検査が、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> ロープの間隔・金網の重ねしろが、設計図書の仕様を満足していることを確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 結合コイル・クロスクリップ等の配置が、設計図書の仕様を満足していることを確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 使用材料の設置までの保管管理が、適切であることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> その他理由( )</p> <p><b>【ポケット式】</b></p> <p>9 <input type="checkbox"/> 支柱の設置位置・支柱長さ・建込み角度が適正で、落石を受ける開口部が十分に確保され、施工されていることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 支柱設置位置の地質により、岩盤用・土砂部用の使い分けが、設計図書の仕様を満足していることを確認できる。</p> <p><b>アンカーの品質確認検査</b>                      岩盤用 ..... 軸方向引張試験：施工本数の20%、もしくは最小本数3本                      土砂部用 ..... 横方向引張試験：施工本数が10本以上の場合には供試体2本                      施工本数が10本未満の場合には供試体1本</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 10 )-対象外項目数( )                      評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )                      ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。					<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e																													
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば...e																																		



工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	(a)	(a')	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	アンカー工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 材料の品質確認で、証明書と現物照合ができることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 材料の保管管理が適正で、傷・損傷等がないことが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 削孔・材料の設置等の施工管理状況が、適正であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 受圧板の配筋や打設等の施工管理状況が、写真等の資料で十分確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 品質確認試験が、基準に基づいて適正に行われていることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>8 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 対象評価項目数( )=全項目数( 8 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">上記項目該当があれば… e</p>																																			

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	暗渠排水管工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 排水管材料の品質が、材料証明書で確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 排水管材料の保管管理が適切で、傷・損傷等がないことが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 排水管の埋設時に、床掘面が十分に締固められていることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 排水管の埋設時に、碎石等が設計通りに使用されていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 排水管の埋設延長が、管理写真等で確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>8 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 対象評価項目数( )=全項目数( 8 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。					<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e																														
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。					上記項目該当があれば...e																														

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	(a)'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	鋼製ふとん籠工事	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 施工基面が、平滑に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 材料の組立・設置が適切で、変位が生じていないことが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 材料の品質・形状が、品質証明書及び写真で確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 中詰め石の大きさ・施工が、良好であることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 吸い出し防止材が、適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>8 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 対象評価項目数( )=全項目数( 8 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。					<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e																														
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改修請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。					上記項目該当があれば…e																														



工事成績表の考査項目別運用表

検査員

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工程	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	鋼橋工事  (RC床版工事はコンクリート構造物に準じる)  (堰・水門等工場製作の鋼構造物を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																				
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																														
		「評価対象項目」 【工場製作関係】 1 <input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を証明する書類または現物により、照合していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 溶接施工にかかる施工計画書等を、提出していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 孔開けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生がみられないことが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後、4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 塗料の空き缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 塗料の品質で、出荷証明書・塗料成績表により、製造年月日・ロット番号・色彩・数量が確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 亜鉛メッキの付着量が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> その他 理由( ) 【架設関係】 13 <input type="checkbox"/> ボルトの締め付け確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> ボルトの締め付け機・測定機器のキャリブレーション(検定・調整)を実施していることが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 16 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 17 <input type="checkbox"/> 支承の据え付けで、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に、水切り勾配がついていることが確認できる。 18 <input type="checkbox"/> 仮設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 19 <input type="checkbox"/> 仮設に用いる仮設備及び仮設用機材について、品質・性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。 20 <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を、適切に行っていることが確認できる。 21 <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度・湿度・風速等の確認を行っていることが確認できる。 22 <input type="checkbox"/> その他 理由( )																																				
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば... e																																				
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 22 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																				
		●判断基準																																				
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																				

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	コンクリート橋上部工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																			
	PC及びRCを対象	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量・単位水量・アルカリ骨材反応等)が確認できる。 2 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ・締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 5 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に、型枠・支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までに、さび・泥・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう、管理していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認をおこなっていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを、事前実施していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物等と同様な養生条件におかれた供試体を、用いていることが確認できる。 16 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 17 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 17 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。  ●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	塗装工事 (工場塗装を除く)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
「評価対象項目」		1 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認・気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料が沈殿していないことを確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 鋼材表面および被塗装面の汚れ・油類等を除去し、塗装を行っていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 塗料の空き缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 塗り残し・ながれ・しわ等がなく、塗装されていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 溶接部・ボルトの結合部分・構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 塗料の品質で、出荷証明書・塗料成績表により、製造年月日・ロット番号・色彩・数量が確認できる。 10 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 10 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

工事成績表の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	工程	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	砂防構造物工事および地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																				
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																														
「評価対象項目」		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 22 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																				
【共通】		<input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間・打設時の投入高さ・締め固め時のパイプレーターの機種・養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に、型枠・支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせが適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋または鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打ち継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																				
【砂防構造物工事に適用】		<input type="checkbox"/> コンクリート打設まで、さび・泥・油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の加工・組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締め付け確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締め付け機及び測定機器の、キャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																				
【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)】		<input type="checkbox"/> アンカーが設計図書の仕様を満足していることを確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立に当たり、偏心と歪みに配慮し、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向・角度が適正となるように、施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																				
		進行性または有害なクラックがある場合で、無処理の場合は状況に応じてdまたはeとする。																																				
		●判断基準																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
90%以上	a	a'	b	b																																		
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
60%未満	b'	c	c	c																																		
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																				
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。 上記1項目該当..... d 2項目該当..... e <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。 上記項目該当があれば...e																																				

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	植栽工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷・はちくずれ等がなく、保護養生が適切に行われていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある、害虫等がないことが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定・整形・その他必要な手入れが、行われていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 肥料が直接、樹木の根に触れないよう、均一に施肥されていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り、植穴底部を耕していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 添え木を、ぐらつきがないように設置していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に、据付していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 9 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	浚渫工事	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 材料等(製品を含む)の品質規格証明書が、整備されていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 汚濁防止フェンス・遮水シート・吸出し防止シート等が、仕様書に定められたとおりに施工されていることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 潮位(水位)・潮流・波浪等の状況を十分に把握し、施工されていることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 浚渫土砂の処理及び沈砂池は、仕様書に定められたとおりに、施工されていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 浚渫等の汚濁水は、仕様書に定められた水質に処理されている、ことが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 濁り防止等、環境保全に十分注意していることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 浚渫土砂運搬経路が、仕様書等に定められた通りに施工されていることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> その他 理由( )</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 8 )-対象外項目数( )                  評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )                  ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。					<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e																														
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。					上記項目該当があれば…e																														

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	防護柵(網)標識区画線等設置工事	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
「評価対象項目」		1 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱・視線誘導標設置基準・道路標識ハンドブック等の、規定を満足していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘の仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように、施工していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋および鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響がないように、施工していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の根入れ長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた、所定の張力を与えていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書で定められた強度以上であることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> ベイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが、見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間および夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって、設置路面の水分・泥・砂塵およびほこりを、取り除いて行っていることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> 区画線の消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 16 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e					<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																														
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 16 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持工事 清掃工 除草工 附属物工等	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。						
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を、適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど、積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>8 <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>* 記載4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜、追加項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 8 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準                  該当項目が90%以上..... a                  該当項目が80%以上90%未満..... a'                  該当項目が70%以上80%未満..... b                  該当項目が60%以上70%未満..... b'                  該当項目が60%未満..... c</p>						
							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e	
							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば...e	



工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	修繕工事 橋脚補強 耐震補強 落橋防止等	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。						
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を、適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど、積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する、提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>8 <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>* 記載4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜、追加項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 8 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準                  該当項目が90%以上..... a                  該当項目が80%以上90%未満..... a'                  該当項目が70%以上80%未満..... b                  該当項目が60%以上70%未満..... b'                  該当項目が60%未満..... c</p>						
							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e	
							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば...e	

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	ほ場整備工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土工工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 地区内の地表水および地下水を排除し、ドライの状態で行われていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 濁り等の防止に十分留意して、施工していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 整地前に、既設構造物等の雑物について、適切に処理していることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 表土はざとりにおいて、石れき・不良土が混入していないことが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 客土の土質は、含水比の高い粘土質以外の、適性な土質であることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 畦畔の土質が基盤土と同等で、線形も良く十分転圧されていることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 土の敷均し及び締固めは、設計図書等の仕様により、施工されていることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 暗渠排水工は、設計図書等の仕様に基づき、施工されていることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 給排水については、ほ場面標高等を考慮して、施工されていることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 水路や農道の、法面の通りが良いことが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 水路の施工基面が平滑に仕上げられ、水路底の高さが平滑に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 道路路体および敷砂利の転圧が、十分に行われていることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 二次製品に、損傷がみられないことが確認できる。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 構造物側面の埋戻しについては、仕様書等で示す条件により、締固めが実施されていることが確認できる。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> その他 理由( )</p> <p>□ 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。</p> <p>□ 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e</p> <p>□ 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">上記項目該当があれば… e</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 15 )-対象外項目数( )                  評価値( % )=評価数( )÷対象評価項目数( )                  ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	管水路 工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 管水路の基礎地盤を過度に床掘した場合は、良質土で置き換えのうえ、転圧していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 管水路の基礎や砂巻の転圧が適正で、埋戻しの敷均し・締め固めが、指定された機械で適正に施工されていることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 管水路の床掘後、基礎と埋戻し時に、ドライワークの確保がされていることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 管水路の現場発生土が埋戻し土として不適切な場合、良質土で埋戻していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 管水路の基礎・埋戻し土の最大粒径は、許容範囲内であることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 材料の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 管水路の溶接や接着剤による接合が、異物を除去し適正に施工されていることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 管水路のゴムリングの位置や、ジョイント間隔の確保ができていることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 管水路の接合について、ボルトの締め付けは、規定トルクで適正に締め付けられていることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 管水路の通水試験が適正に検査されており、許容範囲内にあることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 仕切弁や空気弁ボックスの天端と、道路面のすりあわせが良い、ことが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物に、きめ細かな施工を行っていることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> その他理由( )</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 13 )-対象外項目数( )                  評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )                  ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で改善指示を行った。					<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e																														
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	ため池工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 基礎処理の施工が仕様書の規定に従い、適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 刃金土や堤体の締固めが仕様書に従い、適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> グラウト工が適切に実施されていることが、工事書類等により確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 施工基面及び法面が、平滑に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 湧水が適切に処理されていることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 気象条件を考慮した施工が確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組み立て・継手部・かぶり、工事図面に示されたとおりに施工していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 付帯構造物は設計図書に基づき、適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> その他理由( )</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 対象評価項目数( )=全項目数( 10 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )÷対象評価項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。</p> <p style="text-align: right;">上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。</p> <p style="text-align: right;">上記項目該当があれば…e</p>																																			

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	機械設備 工事	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。						
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し、品質の確認ができる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 設備の機能および性能が、承諾図書の通り確保され、品質の確認ができる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係る成績書が整理され、品質の確認ができる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し、品質の確認ができる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し、品質の確認ができる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図面の通り設置され、操作性に優れていることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 操作制御装置の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し、品質を確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 小配管・電気配線・配管が、承諾図書の通り敷設していることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を、工夫していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に、部品等の点検および交換方法が、まとめられていることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいように、工夫していることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう、工夫していることが確認できる。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> パブル類の平時の状態を示すラベルなどが、見やすい状態で、表示していることが確認できる。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を、見やすく表示していることが確認できる。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険個所に、表示または防護をしていることが確認できる。</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘察し、施工方法等について、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> その他 理由( )</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 20 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準 該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... a' 該当項目が70%以上80%未満..... b 該当項目が60%以上70%未満..... b' 該当項目が60%未満..... c</p>						
							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当..... d 2項目該当..... e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば...e	

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電気設備工事	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。						
	照明設備工事 その他類似工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を、実施していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 機器の品質・機能・性能が、設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書の通り配置され、操作性に優れていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合がないことが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動を確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を、工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正または更新)していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 完成図書で、定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を、明示していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取り換え作業が容易にできるように、工夫していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> その他理由( )					<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e	
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 13 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。  ●判断基準 該当項目が90%以上…………… a 該当項目が80%以上90%未満…………… a' 該当項目が70%以上80%未満…………… b 該当項目が60%以上70%未満…………… b' 該当項目が60%未満…………… c						

工事成績表の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	通信設備工事	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]						
	受変電設備工事	* ばらつきの判断は別図参照。						
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を、実施していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を、整備していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合の結果が品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 設備及び機器の品質・機能・性能が、成績書等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合がないことが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能が、所定の能力を満足していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能・性能・操作方法を容易に判別できる資料を、整備していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を、整備していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を、工場試験記録により確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を、工夫していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 完成図書で、定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を、明示していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取り換え作業が容易にできるよう、工夫していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> その他理由( )					<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e	
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 13 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。  ●判断基準 該当項目が90%以上…………… a 該当項目が80%以上90%未満…………… a' 該当項目が70%以上80%未満…………… b 該当項目が60%以上70%未満…………… b' 該当項目が60%未満…………… c						

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	電線共同溝工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
「評価対象項目」		1 <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 舗装復旧で、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等において、合材の温度管理を記録していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が均等となるように、かつ不陸がないように、仕上がっていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差、及び蛇行等がないように、敷設されていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸がなく、平坦性を確保していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> その他 理由( )																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 10 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			



工事成績表の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	下水道工事 (開削・推進・シールド)	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 * ばらつきの判断は別図参照。																																		
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																												
「評価対象項目」		<p>【共通】</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が、実施されていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されていることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 管渠継ぎ手部及びマンホール連結部の、目地仕上げが良好であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> マンホールにおいて出来形管理基準を満足し、連結部には止水シール・止水ゴムが、適切に使用されていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> マンホールにおいて各部材にはクラックがなく、漏水もないことが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> マンホールの足掛け金物の位置・方向が適正であり、鉄蓋設置においてはガタツキがなく、仕上がり天端高も適正であることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> インバートは形状・勾配等が適正で、表面の仕上げが適切であることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 管渠施設内に、土砂・モルタル・その他材料の断片等がなく、清掃されていることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 掘削時の土留め方法や、推進時の掘進方法による、周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られないことが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 舗装復旧において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がなく、また舗装切断跡が残っていないなど、仕上がり状態がよいことが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 治道の事前調査が行われ、事後調査を実施すれば対比できるように、整理されていることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 緑石・柵・標識等の道路付属物の復旧が、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> その他理由( )</p> <p>【開削工事】</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 管材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 管渠止めにおいて、止水滑材や接着剤等の、はみ出しなどが無いことが確認できる。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 圧力管の管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>【推進工事】</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 管材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 漏水防止工が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 薬液注入の材料が適正であり、適切な注入率にもとづき、設計注入量が注入されたことが確認できる。</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 裏込めの注入材料が適正であり、適切な配合にもとづき、設計注入量が注入されたことが確認できる。</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 鋼製カラー・ゴム輪などの継手材料が適正で、かつ適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 推進機の機能が土質に適合し、推進力のチェックなどが行われており、かつ安全であることが確認できる。</p> <p>【シールド工事】</p> <p>24 <input type="checkbox"/> セグメントの保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 一時覆工時におけるセグメントの組み立てが、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>26 <input type="checkbox"/> 漏水防止工が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>27 <input type="checkbox"/> 薬液注入の材料が適正であり、適切な注入率にもとづき、設計注入量が注入されたことが確認できる。</p> <p>28 <input type="checkbox"/> 裏込めの注入材料が適正であり、適切な配合にもとづき、設計注入量が注入されたことが確認できる。</p> <p>29 <input type="checkbox"/> シールド機の機能が土質に適合し、推進力のチェックなどが行われており、かつ安全であることが確認できる。</p> <p>30 <input type="checkbox"/> 管渠の基準高・水平変位が日々管理されており、異常値がないことが確認できる。</p>																																		
		<p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。</p> <p>上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。</p> <p>上記項目該当があれば… e</p>																																		
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 対象評価項目数( )=全項目数( 30 )-対象外項目数( ) 評価値( %) = 評価数( ) / 対象評価項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評 価 値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td></td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評 価 値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c		c
評 価 値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c		c																																

工事成績表の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 *ばらつきの判断は別図参照。																																	
II. 品質		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																											
		「評価対象項目」 【共通】 1 <input type="checkbox"/> 濁り防止等、環境保全に十分注意して、施工していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう、十分検討して施工されていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> その他理由( ) 【浚渫・床掘関係】 4 <input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で、漏出していないように施工していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 浚渫工または床掘工について、仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 【地盤改良関係】 6 <input type="checkbox"/> 改良材の品質管理を適切に行っていることが、記録で確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 浮き泥を巻き込まないように、置き換え材を投入していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> サンドドレーン・砕石ドレーン・サンドコンパクションパイル・ロッドコンパクションパイルが、連続した一様な形状・品質に施工されていることが、打ち込み記録により確認できる。 9 <input type="checkbox"/> ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが、打ち込み記録により確認できるとともに、打設の完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 深層混合処理の打ち込み記録等から、仕様書に定められていることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 前期以外の改良工法について、仕様書に定められていることが記録から確認できる。 【マット・捨石・均し関係】 12 <input type="checkbox"/> 捨石・被覆石などの材料の規格・品質が、試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 13 <input type="checkbox"/> マットが破損なく施工され、それが記録により確認できる。 14 <input type="checkbox"/> 捨石・被覆石・根固め石が、緩みのないように堅固に施工され、それが記録により確認できる。 15 <input type="checkbox"/> 裏込めが、既設構造物および防砂目地板の破損に注意して施工され、それが記録により確認できる。 【本体：杭及び矢板、控え工関係】 16 <input type="checkbox"/> 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。 17 <input type="checkbox"/> 鋼材の保管にあたり、変形・塗膜装面に損傷などがないように、適切に処置されていることが確認できる。 18 <input type="checkbox"/> 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく、施工されていることが確認できる。 19 <input type="checkbox"/> 杭及び矢板の打ち止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 20 <input type="checkbox"/> 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分に締め付け、矢板壁に密着させていることが確認できる。 21 <input type="checkbox"/> 溶接および切断の品質管理に関して、仕様書に定められた事項が確認できる。 【本体：ケーソン掘付及びブロック掘付関係】 22 <input type="checkbox"/> ケーソン仮置きに先立ち仮置き場を調査し、仮置き作業が所定の位置に異常なく行われている、ことが確認できる。 23 <input type="checkbox"/> ケーソン掘付に先立ち気象・海象等を十分調査し、掘え付け作業が所定の精度で行われている、ことが確認できる。 24 <input type="checkbox"/> ケーソン掘付および中詰において、ケーソン及び既設構造物の破損がなく、施工されていることが確認できる。 25 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック掘付に先立ち気象・海象等を十分調査し、掘え付け作業が所定の精度で行われている、ことが確認できる。 26 <input type="checkbox"/> ブロック掘付等において、ブロック及び既設構造物の破損がなく、施工されていることが確認できる。							<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば… e																										
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 26 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																	
		●判断基準																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評 価 値</th> <th rowspan="2">90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>a'</td> <td>a'</td> <td>b'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> <td>c'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>c'</td> <td>c'</td> <td>d'</td> <td>d</td> <td>d</td> </tr> </tbody> </table>							評 価 値	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	a	a'	a'	b'	b	b	b	b'	b'	c'	c	c	c	c'	c'	d'	d	d
評 価 値	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
		50%以下	80%以下	80%を超える																															
a	a'	a'	b'	b	b																														
b	b'	b'	c'	c	c																														
c	c'	c'	d'	d	d																														
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																	

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	港湾ブロック据付工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。						
	評価対象項目のみで評価	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 気象・海象条件に適した、運搬・据付を行っていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの転置き・仮置き・据付に際し、強度確認を行っていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの仮置きは、転倒・崩壊等の恐れがないことが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの据付の、施工上の注意事項(仕様書等による)が守られていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 捨て石基礎の均し面又はかごマット等が、破損なく施工されていることが記録により確認できる。 6 <input type="checkbox"/> その他理由( )						
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e						
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 6 )-対象外項目数( ) 評価値( %)=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。						
		●判断基準 該当項目が90%以上…………… a 該当項目が80%以上90%未満…………… a' 該当項目が70%以上80%未満…………… b 該当項目が60%以上70%未満…………… b' 該当項目が60%未満…………… c						

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	港湾維持修繕工事 (電気・防食塗装・被覆防食工)	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 陽極の規格が証明書類で確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 陽極の設置までに、さび・泥・油等の有害物質が、陽極に付着しないように、管理していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> ボンド及び立ち上がり鉄筋は、白ペイントで塗装されていることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 陽極板の電流効率等(陽極電位・発生電流)が、承諾された値を満足していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 陽極の取り付け位置が確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 溶接部の下地処理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 溶接の形状寸法(のど厚・脚長・溶接長等)が確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 電気防食の効果確認が、整理・記録されている。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 防食塗装工では、雨天または波浪による海水のしぶきが著しい場合、及び空中湿度85%以上の場合は、作業を中止していることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 被覆防食の種類・規格・品質・材質は、設計図書等の定めと一致していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他理由( )</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 11 )-対象外項目数( )                  評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )                  ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。</p> <p>上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e</p> <p><input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。</p> <p>上記項目該当があれば…e</p>																																			

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	港湾維持修繕工事 (電気防食材設置工事)	品質関係の試験結果のパラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 電気防食材の規格が証明書類で確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 電気防食材の設置までの保管管理が、適切であることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 電気防食材と構造物の取り付け面が平滑であり、取り付けが適切であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 電気防食材が強固に取り付けられていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 電気防食材に損傷等がなく、有害な欠点が見られない。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他 理由( )</p> <p>□ 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。</p> <p>□ 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。</p> <p style="padding-left: 20px;">上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e</p> <p>□ 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約担当者が修補工事の請求を行った。</p> <p style="padding-left: 20px;">上記項目該当があれば… e</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 対象評価項目数( )=全項目数( 6 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	港湾維持修繕工事 (防舷材設置工事)	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																				
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																														
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 防舷材の規格が証明書類で確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 防舷材の設置までの保管管理が、適切であることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 防舷材と構造物の取り付け面が平滑であり、取り付けが適切であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> アンカーボルトが強固に取り付けられていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> ボルトの締め付け確認が実施され、資料が管理されている。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 防舷材に損傷等がなく、有害な欠点が見られない。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他 理由( )</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 7 )-対象外項目数( )                  評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( )                  ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。					<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e																															
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。					上記項目該当があれば…e																															

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	海岸工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に、型枠・支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 運搬・打設・締固めが、気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの転置き及び仮置きにあたって、強度確認を行っている。 5 <input type="checkbox"/> 転倒や崩壊等がないように、コンクリートブロックの仮置きを行っていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 捨て石基礎の均し面を、平坦に仕上げていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して、記録していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 台風などの異常気象に備えて、施工前に避難場所の確保及び待避設備の対策を講じていることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改修請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 9 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	トンネル工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] *ばらつきの判断は別図参照。																																			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																													
「評価対象項目」		1 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量・単位水量・アルカリ骨材反応等)が確認できる。 2 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ・締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 吹き付けコンクリートの配合、及びロックボルトの種類・規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分(支保工パターンを含む)の境界を確認し、施工していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を、15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 吹き付けコンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹き付けコンクリートの一層の厚さが15cm以下で、地山と密着するよう施工していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 吹付けコンクリートを打継ぎする場合は、吹付け完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物部に、モルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ面が、同一線上で施工していないことが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> その他理由( )																																			
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 15 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			



工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	バラツキによる評価が適切な工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。																																							
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である																																	
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 14 <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 17 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 19 <input type="checkbox"/>																																							
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e																																							
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 19 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																							
		●判断基準 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
		50%以下	80%以下	80%を超える																																					
	90%以上	a	a'	b	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
	60%未満	b'	c	c	c																																				
		注) 試験結果の打点数等が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																							

工事成績表の考査項目別運用表

検査員

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	バラツキによる評価が不適切な工事	品質関係の試験結果のバラツキと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] * ばらつきの判断は別図参照。						
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 14 <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 17 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 19 <input type="checkbox"/>						
		<input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員等が文書で、検査規程第8条に基づく修補指示を行った。  上記1項目該当…………… d 2項目該当…………… e  <input type="checkbox"/> 測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員等が改造請求を指示した。または、検査規程第7条に基づき、契約当事者が修補工事の請求を行った。  上記項目該当があれば…e						
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数( )=全項目数( 19 )-対象外項目数( ) 評価値( % )=評価数( )/対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。  ●判断基準 該当項目が90%以上…………… a 該当項目が80%以上90%未満…………… a' 該当項目が70%以上80%未満…………… b 該当項目が60%以上70%未満…………… b' 該当項目が60%未満…………… c						

工事成績表の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事 トンネル工事 RC床版工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当5項目以上..... a 該当4項目..... b 該当3項目..... c 該当2項目以下..... d	
	土工事 (盛土工事・築堤工事等)	<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目..... b 該当2項目..... c 該当1項目以下..... d	
	土工事 (切土工事)	<input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮石が除去されている等、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部等を設けるなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう、処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが、設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当5項目以上..... a 該当4項目..... b 該当3項目..... c 該当2項目以下..... d	
	護岸・根固め・水制工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良い、またはクラックがない。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目..... b 該当2項目..... c 該当1項目以下..... d	
	舗装工事	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当5項目以上..... a 該当4項目..... b 該当3項目..... c 該当2項目以下..... d	
	基礎土工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部、天端仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。		* 該当3項目以上..... a 該当2項目..... b 該当1項目..... c 該当項目なし..... d	
	現場打ち水路工事 コンクリート二次製品水路工事	<input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 水路底が平滑・均平で、線形が通っている。 <input type="checkbox"/> 部材のかみ合わせ、または連結等が、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 止水板・伸縮目地・ダウエルバーの取り付けが良い。 <input type="checkbox"/> 土羽や床版など他の構造物との取り付けが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当5項目以上..... a 該当4項目..... b 該当3項目..... c 該当2項目以下..... d	

工事成績表の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

審査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	ブロック舗装工事 (インターロッキング・ タイル系舗装)	<input type="checkbox"/> 仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 通りがよい。 <input type="checkbox"/> かみ合わせがよい。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすり付け等、端部の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目..... b 該当2項目..... c 該当1項目以下..... d	
	解体工事	<input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ、解体後の整地の状態がよい。 <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)または既存部分との調整がなされ、調和がよい仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 跡地の利用者の安全に対する配慮に優れている。 <input type="checkbox"/> 全般的な仕上がり状態が良好である。 <input type="checkbox"/> その他( )		* 該当4項目以上..... a 該当3項目..... b 該当2項目..... c 該当1項目以下..... d	
	補強土壁工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 通りがよい。 <input type="checkbox"/> 端部処理がよい。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすり付け等がよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目..... b 該当2項目..... c 該当1項目以下..... d	
	軽量盛土工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 通りがよい。 <input type="checkbox"/> 端部処理がよい。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすり付け等がよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目..... b 該当2項目..... c 該当1項目以下..... d	
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレ マークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び 出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	法面工事 (植生工・コン吹付工など)	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹き付け等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当3項目以上..... a 該当2項目 ..... b 該当1項目 ..... c 該当項目なし ..... d	
	法面工事 (ロックネット工 カーテンネット工・CCM協会用 ロープネット工・CCM協会用)	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷・さびがない。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレ マークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	アンカー工	<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所・さび等がない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から、不可視部の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 受圧版(張りコン、プレキャスト)等の、肌・配置等が良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ・端部の取り合い等が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	鋼製フンかご工	<input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に、傷・さび等がない。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から、不可視部の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	暗渠排水管工	<input type="checkbox"/> 基礎面や砂巻きが、均平にできている。 <input type="checkbox"/> 埋戻し面の転圧が、均平にできている。 <input type="checkbox"/> 端部の構造物との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 施工状況写真等から、接続部等の不可視部の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレ マークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	鋼橋工事 (堰・水門等工場製作の鋼構造物を含む)	<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、さびがない。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	コンクリート橋工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当6項目以上..... a 該当4～5項目 ..... b 該当3項目 ..... c 該当2項目以下..... d	
	塗装工事 (工場塗装を除く)	<input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下 ..... d	
	地すべり防止工事 (集水井工事を含む)	<input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当3項目以上..... a 該当2項目 ..... b 該当1項目 ..... c 該当項目なし ..... d	
	植栽工事	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが、きめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが、堅固である。 <input type="checkbox"/> 植栽帯の全体的な美観が良い。		* 該当3項目以上..... a 該当2項目 ..... b 該当1項目 ..... c 該当項目なし ..... d	
	浚渫工事	<input type="checkbox"/> 記録紙等から、不可視部分の出来ばえがよいことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 横断図等から、通りが良い、また指定された法勾配が確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 横断図等から、端部処理が良いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 測深記録にばらつきがなく、全体的な美観が良い。		* 該当3項目以上..... a 該当2項目 ..... b 該当1項目 ..... c 該当項目なし ..... d	

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	防護柵(網)工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、さびがない。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当5項目以上..... a 該当4項目 ..... b 該当3項目 ..... c 該当2項目以下..... d	
	標識工事	<input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板、支柱に変色がない。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	区画線工事	<input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	維持修繕工事	<input type="checkbox"/> 小構造物等にも細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当3項目以上..... a 該当2項目 ..... b 該当1項目 ..... c 該当項目なし ..... d	
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				



工事成績表の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレ マークを記入する。

検査員

審査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 基礎面が均平にできて見栄えが良い。 <input type="checkbox"/> 表土が均平にできて見栄えが良い。 <input type="checkbox"/> 用・排水路の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 土羽等の構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 耕作道の路面が均平で線形も良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当6項目以上..... a 該当4～5項目 ..... b 該当3項目 ..... c 該当2項目以下..... d	
	管水路工事	<input type="checkbox"/> 基礎や砂巻きが均平にできている。 <input type="checkbox"/> 埋め戻しの転圧が均平にできている。 <input type="checkbox"/> 旧舗装面はカッターで丁寧に切り取られている。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧面の既設舗装面との取り付けが良い。 <input type="checkbox"/> 給水栓の設置状況が良く、見栄えも良い。 <input type="checkbox"/> 管水路の仕切り弁や空気弁ボックスの天端が、道路面に適合している。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当6項目以上..... a 該当4～5項目 ..... b 該当3項目 ..... c 該当2項目以下..... d	
	ため池工事	<input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の構造物等へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 吹き付け(植生・コンクリート等)の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス等) <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当9項目以上..... a 該当7～8項目 ..... b 該当6項目 ..... c 該当5項目以下..... d	

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレ マークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び 出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設構造物等とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接・塗装・組立等にあたって、細部にわたる配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	電気設備工事 照明設備工事 その他類似工事	<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物としての安全・環境・維持管理等への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常がなく、総合的な機能及び運用性がよい。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納方法が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作・保守点検等の容易さを確保するための、配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	通信設備工事 受変電設備工事 その他類似工事	<input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物としての安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常がなく、総合的な機能や運用性がよい。 <input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が、全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされ <input type="checkbox"/> 操作・保守点検等の容易さを確保するための、配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含む復元旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差がなく平坦性が確保 <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当3項目以上..... a 該当2項目 ..... b 該当1項目 ..... c 該当項目なし ..... d	

工事成績表の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

審査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び 出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	下水道工事 (開削工事)	<input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ・端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当5項目以上………… a 該当4項目………… b 該当3項目………… c 該当2項目以下………… d	
	下水道工事 (推進工事)	<input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ・端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当5項目以上………… a 該当4項目………… b 該当3項目………… c 該当2項目以下………… d	
	下水道工事 (シールド工事)	<input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ・端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 一次覆工時において、通り・仕上げ等が良いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当6項目以上………… a 該当4～5項目………… b 該当3項目………… c 該当2項目以下………… d	

工事成績表の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

審査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	港湾築造工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	港湾ブロック据付工事	<input type="checkbox"/> 凹凸がない。 <input type="checkbox"/> 幅・勾配が定規等の範囲に概ね入っている。 <input type="checkbox"/> 天端が、計画高さからブロックの高さの概ね1/3以内にある。 <input type="checkbox"/> 据付個数の確認が、写真等のできる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	港湾維持修繕工事 (電気・防食塗装・被覆防食工)	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	港湾維持修繕工事 (電気防食材設置工事)	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	
	港湾維持修繕工事 (防舷材設置工事)	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		* 該当4項目以上..... a 該当3項目 ..... b 該当2項目 ..... c 該当1項目以下..... d	

工事成績表の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい 優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3. 出来形及び 出来ばえ	* その他工事 または合併工事等	<input type="checkbox"/>		* 該当4項目以上..... a	
Ⅲ. 出来ばえ		<input type="checkbox"/>		該当3項目 ..... b	
		<input type="checkbox"/>		該当2項目 ..... c	
		<input type="checkbox"/>		該当1項目以下..... d	
		<input type="checkbox"/>			
		* 該当工種からの考査項目で考査し、最大考査項目は5項目とする。			